

■ 主宰共同研究・委託共同研究 実施一覧 ■

2016.1 現在

< 第 1 回 主宰共同研究 >

「ユーラシア大陸と万葉集 I」(H14.4~H16.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学教授）

成果発表：・第 1 回共同研究公開シンポジウム

「〈うた〉のはじまりを世界から考える—ユーラシア大陸と万葉集 I—」

平成 16 年 9 月 19 日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 3 号（H17.3）掲載

< 第 1 回 委託共同研究 >

「奈良県における万葉古代学関連研究の史的研究」(H15.4~H17.3)

研究代表者：坂本信幸氏（奈良女子大学教授）

成果発表：・第 2 回共同研究公開シンポジウム「万葉の旅ここに始まる」

平成 17 年 9 月 19 日（月・祝）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 4 号（H18.3）掲載

< 第 2 回 委託共同研究 >

「平城万葉の形成とその基盤に関する総合的研究」(H16.4~H18.3)

研究代表者：梶川信行氏（日本大学教授）

成果発表：・第 3 回共同研究公開シンポジウム

「万葉集と平城京—万葉集を成り立たせたものを探る—」

平成 18 年 10 月 8 日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 5 号（H19.3）掲載

< 第 2 回 主宰共同研究 >

「古代儀礼と万葉集」(H17.4~H19.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学教授）

成果発表：・第 4 回共同研究公開シンポジウム

「うたといのり—万葉集と世界の文学—」

平成 19 年 10 月 7 日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 6 号（H20.3）掲載

<第3回委託共同研究>

「万葉集の成立基盤としてのヤマトの信仰的世界観の総合的研究—二上山周辺地域を視座として—」(H18.4~H20.3)

研究代表者：大石泰夫氏（盛岡大学教授）

成果発表：・第5回共同研究公開シンポジウム「人はなぜ二上山にのぼるのか」
平成20年9月28日（日）実施
・『万葉古代学研究所年報』第7号（H21.3）掲載

<第4回委託共同研究>

「万葉歌と声の歌との比較研究」(H19.4~H21.3)

研究代表者：真下厚氏（立命館大学教授）

成果発表：・第6回共同研究公開シンポジウム「アジアの歌と万葉集」
平成21年9月27日（日）実施
・『万葉古代学研究所年報』第8号（H22.3）掲載

<第3回主宰共同研究>

「旅と万葉集」(H20.4~H22.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学特任教授）

成果発表：・第7回共同研究公開シンポジウム
「人はなぜ旅をするのか—万葉集と世界の〈旅〉—」
平成22年10月11日（月・祝）実施
・『万葉古代学研究所年報』第9号（H23.3）掲載

<第5回委託共同研究>

「万葉の深層を探るエスノアルケオロジー的研究—とくに海洋伝承を中心に—」(H21.4~H23.3)

研究代表者：後藤明氏（南山大学教授）

成果発表：・第8回共同研究公開シンポジウム「万葉集と民族学」
平成23年9月25日（日）実施
・『万葉古代学研究所年報』第10号（H24.3）掲載

<第6回委託共同研究>

『万葉集』と歌木簡—東アジアにおける詩歌の場と記録メディアの展開—(H22.4~H24.3)

研究代表者：多田伊織氏（国際日本文化研究センター客員准教授）

成果発表：・第9回共同研究公開シンポジウム

「声から文字へ—木簡に記された詩歌と古代東アジアの詩歌の場—」

平成24年9月29日（土）実施

・『万葉古代学研究年報』第11号（H25.3）掲載

<第4回主宰共同研究>

「飛鳥からの発信—万葉古代学の地平—」(H23.4~H25.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（同志社女子大学特任教授）

成果発表：・第10回共同研究公開シンポジウム「万葉古代学の飛鳥」

平成25年10月6日（日）実施

・『万葉古代学研究年報』第12号（H26.3）掲載

<第7回委託共同研究>

「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」(H24.11~H26.3)

研究代表者：見市泰男氏（能面打師・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師）

成果発表：・第11回共同研究公開シンポジウム「仮面が語る芸能の世界」

平成26年9月20日（日）実施

・特別講演会 平成26年11月1日（土）実施

・特別展示「仮面が語る芸能の世界」

平成26年11月1日（土）～24日（月・祝）実施

・『万葉古代学研究年報』第13号（H27.3）掲載

<第8回委託共同研究>

「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」(H25.8~H27.3)

研究代表者：福岡ユタカ氏（作・編曲家）

成果発表：・第12回共同研究公開シンポジウム

平成27年9月27日（日）実施

・『万葉古代学研究年報』第14号（H28.3）掲載予定

<第5回**主宰**共同研究>

「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」(H26.4~H28.3)

研究代表者：井上さやか（万葉文化館主任研究員）

成果発表：・第13回共同研究公開シンポジウム

平成28年10月2日（日）実施予定

・『万葉古代学研究年報』第15号（H29.3）掲載予定

<第9回**委託**共同研究>

「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(H27.7~H29.3)

研究代表者：辰巳正明（國學院大學名誉教授・中国南開大学客員教授）

成果発表：・第14回共同研究公開シンポジウム

平成29年10月実施予定

・『万葉古代学研究年報』第16号（H30.3）掲載予定